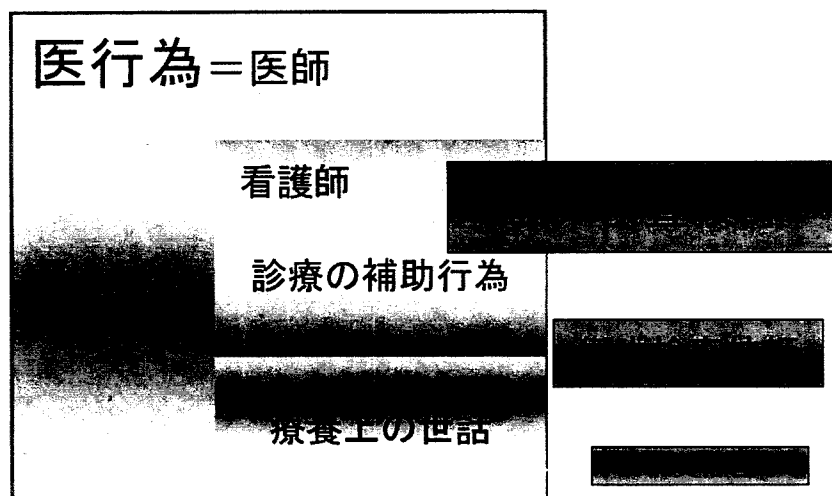


1. チーム医療
2. グレーゾーン

小沼利光(2011.3.2)
 東京都済生会向島病院
 (社)日本臨床衛生検査技師会

- ・ 臨床検査技師(S46年)
 → 生体(生理)検査, 採血
- ・ 衛生検査技師(S33年)
 → 検体検査, 公衆衛生

臨床検査技師、衛生検査技師の 業務概念



チーム医療の類型化

分類	特徴	例
指揮命令型 チーム	医師の保有する専門性の高い知識, 判断力, 技術力に依存し, その指示の下に看護師や臨床工学技士などが補助的役割を果たす。	手術室
共同体 チーム	医師の専門性に依存し, その領域に特化した看護師などの医療従事者がそれぞれの役割を分担して医療に当たる。	救急医療
機能的 チーム	各職種の専門的な知識や技能を結集して構成される。目標を共有化し, フラットな位置関係にある。	ICT, NST, DMなど

チーム医療とは医療環境モデルの一つ

医療業務	従来型	医師中心
	チーム医療型	他職種が対等に連携, 分担

※ 従来型医療業務の問題点は、
医療従事者が全て医師の配下で主体性に欠ける。
また、内科・外科といった医師専門間の対立

⇒ 患者に最善の医療が提供できない

※ 他の医療従事職種を知る絶好の機会
チーム構成員の資格と能力を正しく理解する。



患者に対しどの職種がどの場面で接するのか
担当と責任を明確にするために相互理解が必要

チーム医療の事例(臨床検査技師)

チーム仮称	役割
感染制御	薬剤耐性菌の報告, ラウンド, アウトブレイク管理
栄養サポート	栄養マーカーの評価, 栄養不良患者の抽出
糖尿病療養指導	SMBG指導・管理, 検査値の見方
褥瘡対策	栄養評価+褥瘡細菌感染情報管理
化学療法	化学療法実施による副作用を見る検査値の見方
輸血療法	血液パックの管理(細菌・凝固など), 輸血製剤情報, 副作用情報管理, 適正使用管理
クリニカルパス	検査スケジュール計画提案
腎臓病	検査結果患者への説明(腎臓病コントロールの指標)
肝臓病	検査結果患者への説明(肝臓病コントロールの指標)
病棟配置	病棟内臨床検査の説明, コンサルテーション
検査相談室	検査技師による臨床検査の説明(対象: 医師, 患者)

臨床検査技師に許されている医療行為

1.心電図*	2.心音図	3.毛細血管抵抗
4.筋電図*	5.基礎代謝	6.重心動揺計
7.脈波	8.熱画像	9.磁気共鳴画像
10.超音波	11.呼吸機能*	12.経皮的血液ガス分圧
13.脳波*	14.眼振電図*	検査のための採血*
15.聴力*	16.眼底写真*	

※:一定の制限下の業務

侵襲性の概念

1. カテーテルを用いる検査
2. 薬剤、ガス(笑気など)を用いる検査
3. 体内に触子を挿入する検査
4. 体内に深く(真皮以下)針を刺す検査
5. 放射線を用いる検査

一考を要するグレーゾーン

2011.03.02

1. 検体あるいは検査材料採取
 - ・ インフルエンザ抗原検出用鼻腔拭い液
 - ・ 細菌培養各種材料(咽頭・褥瘡・静脈血)
 - ・ 真菌(白癬菌)、寄生虫(ヒゼンダニ)を目的とする検体(皮膚)採取
2. 検査を目的とする投薬
 - ・ 各種負荷試験時の検査薬内服(OGTT,尿素呼気試験)
 - ・ 各種負荷試験時の検査薬吸入(ベネトリン負荷試験,カプトプリル内服)
 - ・ 眼底カメラ撮影前の散瞳薬点眼
 - ・ 小児脳波・心電図検査時の睡眠導入(トリクロリール内服)
3. 治療を目的とする処置
 - ・ 低血糖時のブドウ糖内服
 - ・ 自己血輸血目的の採血
4. 生体情報収集
 - ・ 血圧・脈拍などのバイタルチェック
 - ・ 膝蓋腱反射
 - ・ 足底のタッチテスト(糖尿病神経障害)